

共用品推進機構だより 2015年11月13日(29)

## 目次

### (132) 共用品推進機構関連記事

▽「電車内での空席の知らせ方／星川安之」

▽「ブログを更新しました！」

### (133) 賛助会員ニュース

▽「便座昇降膝代わり 高齢者の介助しやすく／TOTO」

▽「詰め替え容器注ぎ口大きく／花王」

### (134) その他、各種関連記事

▽「渋谷発 障害感じない未来へ」

### (135) 新刊紹介

▽『乳幼児期のことばの発達とその遅れ

保育・発達を学ぶ人のための基礎知識』

▽『日本手話で学ぶ手話言語学の基礎』

▽『あの花火は消えない』

▽『高齢者、障害者のためのゲーム「スキットル&キャロム」』

---

### (132) 共用品推進機構関連記事

▼「電車内での空席の知らせ方／星川安之」

仕事帰りの中央線。白い杖をついた男性が、新宿駅から乗って来た。混んでいるなか偶然一つ空いている席の前で立ち止まり、つり革に手を伸ばした。そこに60才前後の男性が乗り込んできた。その男性がとった行動は、「あなたの前の席、空いています」の言葉と共に、彼の腕にそっと触れて誘導。

1991年、日常生活で不便さを感じている人たちが何に不便さを感じているのかを知ろうと、目の不自由な人達へのアンケートを計画した。事前調査を経て行ったアンケート調査。その結果を見た我々は強烈な印象を受けた。社会のほとんどのモノやサービスが不便だという結果だったからだ。さらに衝撃的だったのは、それを今まで愚痴を言わず、自分たちで工夫しているという事実であった。

「特に座りたいわけではないが、空いているのかどうか分からないのが不便」というアンケート回答を今でも鮮明に覚えている。以来、空席を知らせることは簡単なようで実は大きな課題と感じていた。しかし、中央線の車内で目にした光景がその解決策を教えてくれたように思えた。

(エルダリープレス—シニアライフ版— 2015年10月号より抜粋)

#### ▼「ブログを更新しました！」

・日本福祉大学講義（沖縄会場）

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

---

#### （133）賛助会員ニュース

#### ▼「便座昇降膝代わり 高齢者の介助しやすく／TOTO」

TOTOは便座が電動で昇降する「トイレリフト」の浸透を目指している。高齢者が座ったり立ったりしやすいよう膝代わりに動く自宅用の製品で、4月に発売後、ケアマネジャーらに売り込んでいる。

トイレリフトは、スイッチを押すと昇降する手すり付きの便座。床に固定して後付けできる。電源もコンセントに差し込むだけでよく、1時間程度で設置できる。

昇降のためのボタンは「上がる」と「下がる」の2つのみ。スイッチを押している時だけ昇降し、指を離せばすぐに止まる。前方へゆっくりと押し出す感触の斜め昇降と、上下の垂直昇降があり、本人の状況に合わせて、設置時に選べるようにした。昇降する高さも11.7cmと14.4cmが選べる。

また、トイレリフトは介助者にとっても負担軽減につながる。トイレリフトを使えば、高い位置に座った状態から立ち上がってもらい、というように作業が楽になる。

(日経産業新聞 11月11日14面より抜粋)

▼「詰め替え容器注ぎ口大きく／花王」

花王は10日、シャンプーなどの詰め替え容器を刷新すると発表した。注ぎ口を大きくし、上下にマチをつけ容器の安定性を高めた。詰め替えが大幅に簡単になる。

「ラクラクパック」として1月16日発売の「エッセンシャル」のほか「メリット」シリーズでも採用する。ボトルのような形状で、樹脂製の注ぎ口がシャンプー本体の容器にはまり、上から中身が落下して簡単に補充できる。

液の詰まりや残液を減らし、さらにフィルムの使用面積も同35%削減した。二酸化炭素の排出量も従来比約3%削減できる。

(日経産業新聞 11月11日20面より抜粋)

---

(134) その他、各種関連記事

▼「渋谷発 障害感じない未来へ」

東京パラリンピックがある2020年を見据え、障害に対する負のイメージを取り除こうと、「かっこよさ」を追求した福祉機器の展示会が10日、東京都渋谷区の「渋谷ヒカリエ」で始まった。地元のセレクトショップもPRに協力。初日は、軽量の折りたたみ式電動カートで街を走行する体験があった。

展示会は「2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」。技術や心の持ちようで障害を障害と感じなくなる近未来を、流行の発信地・渋谷から提案する試みで、NPO法人ピープルデザイン研究所が主催した。

計27の企業や団体、大学が開発した車いすや義手、会話や視覚を支援する機器を展示。一部は実際に体験できる。近くのセレクトショップやアウトドア用品店は最新のファッションとともに電動カートをショーウィンドーに飾った。展示会は11月16日まで。

<http://www.peopledesign.or.jp/fukushi/>

(朝日新聞 11月11日38面より抜粋)

---

(135) 新刊紹介

▼『乳幼児期のことばの発達とその遅れ

保育・発達を学ぶ人のための基礎知識』

子どものことばの発達に関する基礎知識や支援のあり方をわかりやすく解説する書。子どものことばの発達過程や評価方法、豊かなことばをはぐくむ保育についての研究成果と実践、ことばの発達の遅れとその支援などを取り上げる。

著：小椋たみ子（おぐら・たみこ） 小山正（こやま・ただし）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2600 円（税別）

ISBN：978-4-623-07456-3

▼『日本手話で学ぶ手話言語学の基礎』

手話言語学の基本知識を得るための入門書。手話の音韻、形態、統語から、CL・RS・手話の創造性、ろう児の手話の発達、手話研究の基本的な考え方や注意点までを、写真とともに平易に解説。日本手話を収録した DVD 付き。

著：松岡和美（まつおか・かずみ）

発行：くろしお出版

本体価格：2500 円（税別）

ISBN：978-4-87424-670-2

▼『あの花火は消えない』

小さな海辺の町で祖父母と暮らすことになった透子。そのはなれに、自閉症の「ぱんちゃん」が越してきて…。すこし風変わりな女の子と、一本の坂道の絵を描く自閉症の青年が紡ぎ出す、ひとつの夏のあいだの、小さな物語。

著：森島いずみ（もりしま・いずみ）

絵：丹地陽子（たんじ・ようこ）

発行：偕成社

本体価格：1200 円（税別）

ISBN：978-4-03-727190-9

▼『高齢者、障害者のためのゲーム「スキットル&キャロム」』

練習不要で楽しく遊べる！身近な道具で手軽にできる！ボウリングとビリヤードをミックスした、高齢者や障害者のためのオリジナルスポーツをわかりやすく紹介する。

著：竹内啓也（たけうち・けいや）

発行：文芸社

本体価格：1000 円（税別）

ISBN：978-4-286-16499-1

---

（編集後記）

10 数年ぶりで、中国・広州に行く機会がありました。

印象は、10 数年前よりも「活気に溢れている！」でした。

商店街を歩けば、多くの店から軽快なリズムの音楽が流れ、人気飲食店には行列ができています。

行列と言えば・・・

前回の出張の時と違い、今回は地下鉄に乗る機会が多く、ここでも「活気」に取り囲まれていました。

「中国の人は、電車に乗る時に並ばない」と聞きますが、今回、いくつもの場面でもその通りでした。

ただ、「他人を押し」とか「他人に触れる」とかはありませんでした。

つまりここでは、日本のように「ぎゅうぎゅう詰め」になる前に、乗ろうとする人の気持ち、次の電車を待つことに切り替わっているようでした。

ちゃんと並ぶけれど「ぎゅうぎゅう詰め」になり、時には怒りが芽生える日本と、ちゃんと並ばないけれど「ぎゅうぎゅう詰め」にならず、怒りが芽生えない中国。ちゃんと並んで更に「ぎゅうぎゅう詰め」にならず、怒りが芽生えないとなるには、どんな仕組みと思考が必要なのかと思った次第です。

（星川安之）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>